

医療倫理学		講義	教授 加藤 政彦	
科目カテゴリー	柔道整復師コースの専門基礎科目 救命救急士コースの専門基礎分野科目	科目ナンバリング	12331104 13332101	

1. 授業のねらい・概要

医療従事者として身に着けるべき医療倫理の原理・原則を理解すること、さらに医療倫理学がどのように医療現場で実践されるかにつき、理解することを狙いとした授業である。

2. 授業の進め方

テキストの範囲の内容を、適宜、スライドと配布資料を用いて授業する。授業の最後に最近の国家試験問題等を出題し解答を出席カードに記載して提出させる。テキストの内容に沿った講義形式を基本とするが、随時、新聞・雑誌の記事などから具体的な出来事を取り上げて診療の現場に即した説明も行う。

3. 授業計画

1. 生命倫理学と医療倫理学の原理	9. 救急医療における倫理
2. 説明と同意	10. 感染症対策
3. 研究倫理	11. ケーススタディ①（他者危害の防止）
4. 人工妊娠中絶と出生前診断	12. ケーススタディ②（自己危害の防止）
5. 脳死と臓器移植	13. ケーススタディ③（尊厳死）
6. 終末期医療・安楽死と尊厳死	14. ケーススタディ④（障害児の出生）
7. 新生児医療における生命倫理	15. ケーススタディ⑤（医療資源化の是非）
8. 遺伝子・ゲノム医療・再生医療	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、テキストと配布資料を使って復習しておく。さらに、授業の最後に出された問題を復習しておく。この問題は次回の授業の初めに解答を解説する。なお、これらの準備学習には90分以上が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

毎回、過去に実施された国家試験の問題を実践解答させる。問題解答の際、また定期試験実施の際、解答のポイントおよび出題意図を試験終了直後に説明する。

6. 授業における学修の到達目標

- 1) 倫理と道徳の相違を理解する。倫理に関して各自の考えをしっかりと構築する。
- 2) 医療倫理の実地においてコミュニケーションの理解は最も大切であるため、コミュニケーションについて理解を深める。
- 3) 医療倫理が柔道整復師、救急救命士の現場でどのように生かされるかにつき理解する。

7. 成績評価の方法・基準

平常点（30%）、定期試験（70%）を総合的に評価する。

8. テキスト・参考文献

テキスト：伏木信次，編，生命倫理と医療倫理 第4版，金芳堂，2020年

参考文献：明治東洋医学院編集委員会編，2024 第22回～第31回 徹底攻略！国家試験過去問題集 柔道整復師用，医学の日本社，2023年

小関一英編，2023年版救急救命士国家試験対策出題分野別国試験問題・解説集，晴れ書房，2022年
適宜指定する教材

テキストは毎回の授業に必ず持参すること。また、参考文献は適宜紹介する。

9. 受講上の留意事項

携帯電話の使用，飲食，帽子の着用は禁止とする。

欠席回数が全講義回数の3分の1（6回）以上となった場合には受験資格を失う。

遅刻，欠席ならびに授業中の私語，許可の無い教室の出入り，授業に関係ない言動は慎むこと。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。医療機関における医師としての実務経験を活かして講義を行う。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。